

10/19/63

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

01578979      \*\*Image available\*\*

FORM PRODUCER

PUB. NO.:        60-057479 [JP 60057479 A]  
PUBLISHED:      April 03, 1985 (19850403)  
INVENTOR(s):    SUZUKI ISAO  
APPLICANT(s):   FUJI XEROX CO LTD [359761] (A Japanese Company or  
                 Corporation), JP (Japan)  
APPL. NO.:      58-165499 [JP 83165499]  
FILED:          September 08, 1983 (19830908)  
INTL CLASS:     [4] G06K-015/22  
JAPIO CLASS:    45.3 (INFORMATION PROCESSING -- Input Output Units)  
JOURNAL:        Section: P, Section No. 378, Vol. 09, No. 190, Pg. 14,  
August  
                 07, 1985 (19850807)

#### ABSTRACT

PURPOSE: To unify the numbers between an application form and an individual form and to improve the efficiency of business work, by reading a sheet number out of a sheet containing data, recognizing and storing the sheet number to a number memory means and reading out this stored number to give the number to an individual form as an individual form number.

CONSTITUTION: A reading part 1 is provided to an individual form producer to read the contents written on an application form 10, and a control part 5 is connected to the part 1. The number of the form 10 read by the part 1 is recognized at a number recognizing part 2a of a recognizing part 2 and stored at a number memory part 3a of a memory part 3. The prescribed form and data are read out of a font generating part 6 to produce an individual form for each delivery destination and stored to the part 3a. Then the number of the form 10 stored in the part 3a is given to the individual form stored in the part 3. A font signal of the part 6 is applied to a printer 7, and the individual form is printed based on said font signal and the data of the part 3. Thus the efficiency is improved for business work with forms.

DA  
2082

This Page Blank (uspto)

## ⑫ 公開特許公報(A)

昭60-57479

⑬ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和60年(1985)4月3日

G 06 K 15/22

7208-5B

審査請求 有 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 伝票作成装置

⑯ 特 願 昭58-165499

⑰ 出 願 昭58(1983)9月8日

⑱ 発 明 者 鈴木 勲 夫 海老名市本郷2274番地 富士ゼロックス株式会社海老名工場内

⑲ 出 願 人 富士ゼロックス株式会社 東京都港区赤坂3丁目3番5号

⑳ 代 理 人 弁理士 松原 伸之 外4名

## 明 細 書

## 1. 発明の名称

伝票作成装置

## 2. 特許請求の範囲

予め記憶されている個伝票のフォームと、基本となるデータを記載したシートから読み取ったデータの選択および組合せに基いて個伝票を作成する伝票作成装置において、

前記シートから読み取ったシート番号を認識して記憶する番号記憶手段と、

該番号記憶手段から前記シート番号を読み出して前記個伝票に個伝票番号として与える制御手段と、を備えたことを特徴とする伝票作成装置。

## 3. 発明の詳細な説明

## (技術分野)

本発明は伝票処理用のデータを記載する用紙の番号、例えば、申込票番号を読み取って個伝票の番号とすることにより伝票発行の業務効率を向上させた伝票処理装置に関する。

## (背景技術)

伝票処理装置として、例えば、第1図に示すものが提案されている。この伝票処理装置は、申込票に記載されたデータを読み取る読取部1と、読み取られたデータを認識する認識部2と、住所や氏名、個伝票の各種のフォームや、読み取られたデータ等を認識部2の認識結果に基いて記憶する記憶部3と、各種の操作に必要な指令等を入力するコンソール4と、コンソール4の指令に基いて各部を制御し、また、記憶されているフォームとデータ等に基いて個伝票を作成する制御部5と、作成された個伝票に応じたフォント信号を出力するフォント発生部6と、フォント信号に基いて個伝票をプリントするプリンタ7と、から構成されている。

以上の伝票処理装置において、幾つかの届け先の住所や氏名、届ける商品名、単価、コード等を記載した申込票をコンソール4からの指令に基いて読取部1に読み取らせると、それらのデータが記憶部3に記憶される。コンソール4

から、例えば、商品名に仕分けるように指令すると、制御部5が認識部2の認識結果から商品コードに基づいて商品の仕分けを行い、記憶部3に記憶されている住所、氏名、フォームと仕分け商品についてのデータに基づいて個伝票を作成する。作成された個伝票はフォント発生部6のフォント信号を付加してプリンタ7によって必要な枚数だけプリントされる。ここで、個伝票としては、例えば、次のものがある。

(1) 物流控あるいは配送票

商品の取り出しや包装作業を行う配送センター等で使用される作業伝票

(2) 商品貼付票

発送する商品に貼付して荷札として使用される伝票

(3) 配達控あるいは持出し票

配送センターと届け先を結ぶ小規模な配送所で使用される伝票

(4) 証明票

商品を届け先に届けたとき証明印をもらう

## 伝票

これらの個伝票には、申込票の番号とは直接関連しない番号を制御部5において与えることよりプリントするようになっているため、申込票番号の複写や事前に印刷しておいて個伝票に個伝票番号を与える従来のやり方において問題となる複写による位置ずれや印刷番号による番号の固定等といった不都合を生じないで、伝票番号の登録管理を機械化によって行うことができる。

しかし、以上述べた伝票処理装置によれば、個伝票には制御部5によって与えられる個々の番号がプリントされるようになっているため、申込票と個伝票の番号を一本化することができず、そのため、伝票発行業務の効率向上に限度が生じている。

〔発明の目的および構成〕

本発明は上記に鑑みてなされたものであり、申込票と個伝票の番号を一本化して伝票発行業務の効率向上を図るため、申込票番号を読み取

って個伝票の番号とする伝票処理装置を提供するものである。

以下本発明による伝票処理装置を詳細に説明する。

〔実施例〕

第2図は本発明の一実施例を示し、第1図と同一の部分の同一の引用数字で示しているのが重複する説明を省略するが、認識部2は読取部1が読み取った申込票の番号を認識する番号認識部2aを有し、記憶部3は番号認識部2aで認識した申込票の番号を記憶する番号記憶部3aを有する。

第3図は申込票10を示し、右側に申込票番号「13254」を有し、かつ、「ご依頼主」、「お届け先」、「品名」、「単価」および「コード」の各欄を有する。

以下、本発明による作用を説明する。

申込票10を自動原稿送り機構（図示せず）にセットした後、「ご依頼主」に基づく個伝票（物流控、商品貼付票、配達控、および証明票）

を作成する指令をコンソール4から入力すると、申込票10の内容が読取部1で読み取られ、認識部2がこれを認識して記憶部3に記憶する。認識部2の番号認識部2aは申込票10の番号「13254」を認識して番号記憶部3aへ記憶する。制御部5は「ご依頼主」に基づく各お届け先毎に前記の個伝票を作成する所定のフォームとデータを読み出して個伝票を作成し、これを記憶部3に記憶する。記憶部3に記憶された個伝票は番号記憶部3aに記憶された申込票番号「13254」を付され、フォント発生部6によってフォント信号にされる。プリンタ7はこのフォント信号と記憶部3のデータに基づき個伝票をプリントする。

第4図は申込票の第3行目のデータからプリントされた個伝票を示し、物流控20aから証明票20dには、申込票の3行目が転記されているので番号13254-3が付されている。

尚、個伝票番号にチェックディジットを付加するようにしても良い。また、以上の実施例で

は、「お届け先」を選択的に抽出して個伝票を作成したが、斯る選択領域を表示するために、例えば、その左側にマーク領域を設けるようにしても良い。

#### 〔発明の効果〕

以上説明した通り、本発明による伝票作成装置によれば、申込票番号を読み取って個伝票の番号にしたため、申込票と個伝票の番号を一本化して伝票業務の効率向上を図ることができる。

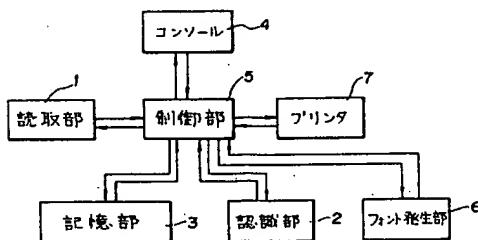
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は提案ずみの伝票作成装置のブロック図。第2図は本発明の一実施例のブロック図。第3図は申込票を示す説明図。第4図は個伝票を示す説明図。

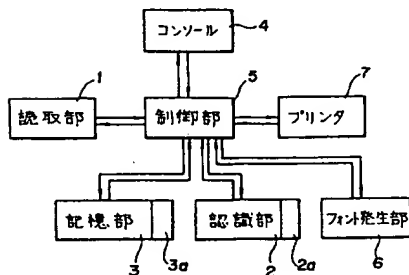
#### 符 号 の 説 明

1…読取部、 2…認識部、 2a…番号認識部、 3…記憶部、 3a…番号記憶部、  
4…コンソール、 6…フォント発生部、  
7…プリンタ、 10…申込票、 20a~20d…個伝票。

第1図



第2図



第3図

第4図

**This Page Blank (uspto)**